枠組壁工法構造用製材の日本農林規格 近く正式制定へ

日本の住宅でも近年建築技術の変化により,北米で行なわれているツーバイフォー工法が導入されてきた。この工法は,木材寸法の簡略化,合理的な材料の使用,施行期間の短縮,生産コストの低減化が期待される。そのため農林省ではこれに関する農林規格を新たに制定し,品質性能の保証された材料の供給を図ることになった。規格は「枠組壁工法構造用製材の日本農林規格」としているが,多少修正も考えられる。

厚さ及び幅の寸法をこの規格に定める許容誤差範 囲内の精度に製材し,かつ材面をプレーナーがけ程 度に平滑に加工することをいう。

- 3)規定寸法と呼び名は**第1表**のとおりとする。なお,未乾燥材及び乾燥材に区分する。
- 4)表示事項と表示の方法
- (1) 樹種群の略号または樹種の一般名の記載は**第**2 表のとおりとする。

1. 規格の概要

- 1)基本的には北米の規格と共通の内容をもったものとする。(アメリカ WCLIBNo . 16 . カナダNLGA)
 - 2) 規格の区分と定義
- (1) 枠組壁工法構造用製材

枠組壁工法建築物の構造耐力上主要な部分に使用 する寸法加工をした針葉樹製材をいう。

(2)甲種枠組材

主として高い曲げ性能を必要とする枠組壁構造用 製材をいい、特級、1~4級の5区分とする。

(3) 乙種枠組材

甲種枠組材以外の枠組壁構造用製材をいう。コンストラクショソ,スタンダード,ユーテリティの3 等級に区分する。

(4) 寸法加工

第1表 規定寸法と呼び名

呼	未乾燥材(19%をこえ・			乾燥材(含) 以下のもの)			
び名	未乾燥材 の呼び名	厚さ	幅	乾燥材の 呼び名	厚さ	幅	備考
		mm	mm		mm	mm	甲種枠組材
203	203 G	40	65	203 D	38	64	中価枠組材は全区分,
204	204 G	40	90	204 D	38	89	乙種枠組材
206	206 G	40	143	206 D	38	140	1203, 204
208	208 G	40	190	208D	38	184	404の3種の み。
210	210 G	40	241	210 D	38	235	寸法の許容
212	212 G	40	292	212D	38	286	誤差は±1.
404	404 G	90	90	404 D	89	89	5mm.

第2表 横手群の略号と横種グループの文字

樹種群		<u>對</u>	種	名						
の略号	樹種グループ	樹		種						
	D-FirL	ダグラスファー, ウエスタンラーチ, タロマツ, アカマツ, ダフリカカラマツ, その他これに類するもの								
J 群	Hem—Tam	-, タマラ スタンヘム	ック, ジ ロック,	トイエロ - シ - ダ ャックパイン, イ - カラマツ, ヒパ, ヒ キ, その他これに類						
	Hem-Fir		ー, グラ	トヘムロック, アマンドファー, ツガ, もの						
【群	S-P-F (Spruce- Pine-Fir)	ンデローザ エンゲルマ ルース, レ トカスプル ミ, エゾマ カマツ, メ	· パイン,: ンスプル ッドスフ ース, ア ツ, トド ルクシマ	ッジボールパイン,ポ ドワイトスプルース, イス, プラックスプ プルース, コーストシ ルパインファー, モ マツ, オウシュウア ツ, ラジアータパイ 類するもの						
	W-Cedar	ン, ウエス タンホワイ	タンホワ トパイン	ーダー, レッドパイ イトパイン, イース , スギ, アガチス, れらに類するもの						

- (2) 呼び名, 未乾燥材及び乾燥材の呼び名を記載する。
- (3) 長さ,単位を明記して行なう。
- (4) 防腐処理, 防腐処理表示したものには使用薬剤の種類を合わせて記載する。
- (5) 製造業者または販売業者 (輸入品は輸入業者の

氏名または名称)。

氏名または名称)。 る。 5)欠点の測定法については,北米の方法に準ず なお,**第3表**に日本農林規格の案を掲載する。

第3表 枠粗壁工法構造用製材の日本農林規格(案)

×	Я			甲		種格		华 組		材					ح	種	枠	組	त्रं
		特		級	1		級	2		級	3		級		ストション	スダ	タ ン	ュリ	ー テ テ イ
ř. ъ	な 単位mm 乎 び 名	健全節 腐れ節		腐れ節			腐れ節	節			節			腐れ節					
		材縁部	中央部	抜け節あな	材縁部 中央部		抜け節 あな		中央部	あな	材縁部	中央部	あな	健全節	抜け節あな		あな	節	あた
	203	13	13	13	19	19	19	22	22	22	32	32	32	32	19	38	25	51	32
武	204	19	22	19	25	38	25	32	51	32	44	64	44	38	25	51	32	64	38
,	206	29	48	25	38	57	32	48	73	38	70	95	51						
い	208	38	57	32		70	38	64	89	51	89	114	64						
材	210	48	67	32	64	83	38	83	108	64	114	140	76						
画	212	57	76	32	76	95	38	95	121	76	140	165	89				1		T
-	404	22	22 2m/c	19 つき	38	38 0cm/C	25つき	51	51 0cm/c	32 つき	64	64 0cm ₹	44 つき	90cm	25 につき	51 60cm	32	30cm	38
☆材	あなの数 	1 と以下		1 と以下		1 2以下				اع 1	. h.	1と以下							
(分 狭面 相当節径比 い		1/6以下		1/5以下		同左			1/4以下			1/4以下		1/3以下		1/2以下			
1 -	貫 木口面にで 通 ているもの 材幅以下		同左			材幅の1.5倍以下			材幅の2倍以下			材報	以下	材幅の以下	01.5倍	材長の 1/6 以 下			
割 割	材面のみのもの				同左		割れの合計が 60cm以下			材長の1/3以下			ないこと		割れの合計が 60cm以下		材長の 1/3 以 下		
そ	刺木口面にでれているもの	材厚	の1/2以	下	同	左		同 左			_			材厚の1/2 以下		同左		_	
他の	材面のみの				同左			90cm(材長の 1/4)以下			_			割れの合計が 60cm以下		90cm(材長の 1/4)以下		_	
丸			同 左		35%以下			50%以下			25%以下		35%以下		50%以下				
平均年輪幅		6mm以下		同 左			同 左			_				_		-			
繊維元	と向の傾斜	80mm以下		100mm以下		-	120mm以下		-	250mm以下		-	170mm以下		250mm以下		同 左		
曲	þ	0.2以下		同 左			0.2%以下			同 左			0.2%以下		0.5%以下		同左		
そり、ねじれ		軽微であること		同左		顕著	でない	 _ と	利用上支障のないこと			軽微であること		. 顕著でないと と		利用上支障のないこと			
腐 れ		ないこと		同 左			軽微	である	<u>ک</u> ک	顕著でないこ			ないこと		軽微であること				
変 色		辺材部のもの堅固 な心材部のもので 面積10%以下		辺材部のもの堅 固な心材部のら の			· 同	左		_			辺材部のもの 堅固な心材部 のもの		同 左		_		
加工」	-の欠点	顕著	でない	<u> </u>	同	左		利用いと	上支 障 (と	のな	同	左		顕著でと	ないこ	利用」ないと	:支障の :と	同	左
その他の欠点 (やに,やにすじ やにつぼ,入り 皮も含まれる)		軽微	である	2 2	同左			顕著でないこと			利用上支障のないこと			軽微で	あると	顕著でと	さないと	利用」ないと	- 支障の - と
含	水 率	未乾	燥材(G)19% 8	とこえる	560	乾燥	材(D)	19%以~	下のもの	D								
防 版 (表示	が 処 理 するもの)	JISK	C1550	1種1号	1種2-	号,JIS	SK1554	1号ま	たは25	きによ!)処理さ	れてお	り, 防	腐処理	試験に台	格する	5 6 0		
寸	法	規定寸法は第1表を参照のこと。許容誤差は巾±1.5mm, 長さ−0, +制限なし																	
表	示	 1. 樹種名または樹種群(『群, 『群) 2. 寸法の呼び名,未乾燥,乾燥の旨を表わず文字(EX 204G 208D) 3. 長さ 4. 防腐処理(処理をしたもの) 5. 製造業者,販売業者(輸入業者)の氏名または名称																	